

認定こども園 すずたこども園保護者アンケート回収結果

令和 7 年 3 月

アンケートへのご協力ありがとうございました。

回収結果をまとめましたので、ご報告いたします。

配布家庭数 86 家庭 回収 60 家庭 回収率 69.7%

| | | | | |
|----|---------|-----------|--------------|-----------|
| 評価 | 4 あてはまる | 3 ややあてはまる | 2 あまりあてはまらない | 1 あてはまらない |
|----|---------|-----------|--------------|-----------|

※わからない 記入なし

| | 内 容 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---------|---|------|------|-----|-----|
| 教育・保育内容 | ① お子さんは、喜んでこども園に登園している。 | 73.4 | 23.3 | 3.3 | |
| | ② 友達と一緒に遊んだり、友達の遊びに刺激を受けたり、共に過ごす楽しさを味わっている。 | 83.3 | 16.7 | | |
| | ③ 園では、遊びや生活を通じて社会性やルール等を知り、守ろうとする態度を育てている。 | 80.0 | 16.7 | 3.3 | |
| | ④ 園では、子ども達に思いやりの気持ちや我慢する力を育てている。 | 66.7 | 31.7 | 1.6 | |
| | ⑤ 園では、子どもたちに良く挨拶できるような教育・保育をしている。 | 80.1 | 18.3 | 1.6 | |
| | ⑥ 園では、命や自然を大切に作る心を育てる教育・保育をしている。 | 81.7 | 16.7 | 1.6 | |
| 給食・食育 | ⑦ 園は、日頃の教育・保育活動において、子どもたちの食に対する関心を高めようとしている（栽培・収穫・クッキング等も含む）。 | 91.7 | 6.7 | 1.6 | |
| | ⑧ 給食は、季節感のある献立内容である。 | 93.3 | 6.7 | | |
| | ⑨ 給食は、子どもたちが楽しんで食べられるような工夫がされている。 | 91.7 | 6.7 | 1.6 | |
| 行事・地域連携 | ⑩ あなたのお子さんは、園の行事に喜んで参加している。 | 86.7 | 13.3 | | |
| | ⑪ 園は保護者が様々な乳幼児と関わる機会を作り、乳幼児の発達などに気づく機会をつくっている。 | 63.3 | 33.3 | 1.7 | 1.7 |
| | ⑫ 園は、小学校や地域との連携を大事にしていると思う。 | 90 | 10 | | |
| 保護者との連携 | ⑬ 園やクラスの様子について、「園だより」「クラスだより」また、「掲示物」などを通じて、分かりやすく伝えられている。 | 78.3 | 21.7 | | |
| | ⑭ 送迎時の会話や連絡帳（0・1歳児のみ）などで、園や家庭でのお子さんの様子について情報交換がなされている。 | 58.3 | 36.7 | 5 | |
| | ⑮ 困ったことや気になることがあったときに、気軽に園や担任に尋ねたり、相談したりすることができている。 | 68.3 | 31.7 | | |
| 安全管理 | ⑯ 園は、健康管理・感染症に関して適切に対応している。 | 73.3 | 26.7 | | |
| | ⑰ 園児の安全面に対して十分配慮した教育・保育がされている。 | 71.7 | 28.3 | | |

※全アンケートの中で『2 あまりあてはまらない、1 あてはまらない』を選んだ場合は、そのように思われた理由をご記入下さい。

①・お休みしたいとよく言う（家が自由になる為だと思われる）

・保育園行くよ。という行きたくないという時があり、泣いていやがるため。

○登園時は、お父さん・お母さんと離れたくない…等行きたくないという理由は様々あるかもしれません。「登園するのが楽しみ！！」「早くこども園に行きたい！！」という気持ちになるように、お子様とこども園との信頼関係をしっかり築き、安心して登園してもらえるようにしていきたいと思えます。

③・家庭の日常会話に出てこないような 悪い言葉を使うことが大変増えたように感じる。園でお友達が使っていることだったが、家庭でも厳しく注意しているが、なかなか改善されない。今後、小学校に上がった時に先生や上級生への態度言葉遣い、人を傷つける言葉や喧嘩に発展するような、そういった言葉が出てこないように、今のうちから注意を徹底して欲しい。

○言葉遣いについては、兄姉やテレビ、YouTubeの影響等もあるようで、私達も驚いてしまうような言葉を発している姿も見られます。意味が分からないまま使っているということもあるようで、園でもその都度注意を促している所です。また、「ふわふわことば」「ちくちくことば」についても部屋に掲示したりしながら、相手を思いやる心や気持ちが育つように、話を行っております。

・ルールがある遊びをしているのかわからないから。

○園では、集団生活を行う中で、いろいろなルールがあります。遊びや生活を通していろいろなことを繰り返しながら、約束事やルールを理解して過ごせるよう見守ったり働きかけております。

④・自分の気持ちが先行して、我慢ができない。

○園では、集団生活を行う中で、友達と遊んだり時にはケンカしたり、協力して何かに挑戦したりと、子ども同士の小さな社会が実現し、その小社会の中でいろいろと葛藤を繰り返しながら少しずつ我慢すること（お友達との関係性のなかでお互いの意見（やりたいこと）を主張し合った時に、話し合いのもとどちらかの意見を採用したり、優先順位を決めたり等）を覚えていっているのではないかと思います。どのような場面での我慢かはわかりませんが、ご家庭では、お父さん、お母さんに対する甘えから、わがままになってしまったりもあるのかもしれません。お子様が今どういう気持ちなのか、どうしたいのかの話を聞いてあげ、気持ちを受け止めてからの対応をしてあげると、上手く気持ちの切り替え等もできるかもしれないですよ。

⑤・子ども達の朝の挨拶や帰りの挨拶は徹底しているように思うが、担当のクラス以外の先生や、廊下、通勤途中ですれ違った際に挨拶があまりない。また、集金を職員室に渡しに行った際 事務の先生は挨拶をしてくれるが、園長先生はじめ、他の先生は挨拶がない。子供達は、大人の姿を見て学ぶところもあるので、先生、保護者がお互いに気持ちの良い挨拶ができるともっと良いと思う。

○挨拶はコミュニケーションの基本であり、園内だけでなく、散歩へ出かけた際等も、保育者が必ず行い子ども達の見本となるよう心がけております。園長をはじめ事務所の職員も、保護者の皆様とお会いした際は、挨拶や声かけを行っておりますが、不十分な点があったのかもしれません。申し訳ありません。業務中ということで、手が離せない場合もあるかと思えます。その際は、ご理解のほどお願い致します。

⑦・自然に囲まれた環境にあるにも関わらず、園外に出て活動をする時間が少ないと思う。園外で散歩をしながら、自然に触れたり、花や植物がきれいだとか、川にはどんな生き物がいるのか、どんな虫がいるのか、子ども達が自然から学ぶ事はたくさんあると思う。

○お散歩に関しましては、以前よりも回数は減っているかもしれませんが。出かけた際には、横断歩道のわたり方等交通ルールの勉強にもなりますし、もちろん、季節の移り変わりに気づいたり等自然にふれることも行っております。しかしながら、園周辺は道の狭いところもあったり、危険がないよう十分気をつけていても、事故のリスクも考えられます。その為にも、第2園庭の改造を少しずつ行い、園庭でも四季折々の草花が咲いたり、そこへ様々な虫も、集まってきたりとその中で十分に自然とふれ合い、香りなど五感で感じながら遊ぶことができているかと思えます。また、ガーデナーさんによる、園庭等の自然物を使った草花遊びも、年6回ほど行い、子ども達も楽しく取り組んでおります。

⑧・仕事の都合上、毎回迎えにいけないので 献立を確認する事ができない。お迎えの時も、玄関横までわざわざ見に行かないと見れない場所にあり、置いてある位置も高いので、もうすこし見やすい場所か目につく場所に置いてあるといいと思う。また、献立表のようなものも配られるわけではないので、毎日の献立内容を知る事ができない。

○献立表に関しましては、下足場の掲示板への貼り出しと、Instagramの方には挙げておりました。R7度からは、他のお便りと同じように、メール配信を行います。尚、紙面にて欲しいという方はご遠慮なくお知らせ下さい。

展示食については、作った時間から時間が経っているということもあり、子どもが触って口に入れたりしないようにという配慮で、高い場所に設置しております。6年度は、みさかえの園あゆみの家さんの入所児童さんとの交流を行っていたこともあり、自動ドア前にスロープを設置しておりましたが、7年度は取り外す予定ですので、立ち寄りやすくなると思われれます。是非、ご覧になられて下さい。

・園の特徴なのかもしれないが、準備ができた園児からバラバラに給食を食べ始めるので、一斉に『いただきます』『ごちそうさま』を習慣化できていない。それが、小学校に上がった時、子供達がとまどいなく出来るのかなど疑問に思う。家庭でも、みんなが揃って頂きますを するようにしているが、それが当たり前出来ない。また、鈴田小学校では残食が問題視されている。園では食べる量を選べるバイキングスタイルをとっているが、小学校での給食で適量をしっかり食べきれるような、練習を今のうちからしておくべきではないかと思う。

○食事の挨拶に関しては、食後は行うものの、食前は行っていない子もいるようです。命をいただくということで、食材や、食に関わる全ての人への感謝も込めて、今後はしっかり行っていきたくと思います。

○当園ではセミバイキング形式を取り入れております。セミバイキングでは、子どもが食べられる量を自分で決められる、何をどれくらい食べるかを主張してもらい、このことによって、どの子も必ず一日一度は自分の意思を人に伝える機会を持ちます。一人ひとりの食べられるという量は、それぞれ違うのではないのでしょうか。少食の子に、これが適量だからと絶対にこの量を食べなくてはいけないというのは、その子にとっては給食の時間が苦痛にもなるでしょうし、不適切な対応にもなるのではないかと感じます。

当園では、季節ならでは、その時期の旬な食材を使って、子ども達が食べやすいよう調理方法も工夫しながら給食の提供を行っております。特に最近では、ご家庭で「座って食べることができない」、「野菜をなかなか食べない」、「好きな物しか食べない」という声を保護者の皆さんからお聞きします。卒園するまでの間に、無理せず長い目で見ながら少しでも苦手な物が食べられるようになればという思いと、また、マナーについても褒めたり認めたりといろいろ工夫しながら対応している所です。しかし、園だけでは難しい部分もありますので、ご家庭の方とも協力しながら一緒に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

⑪・特に、そういう機会があると感じた事はない

○当園では、年間を通して保護者の皆様の園見学を行っております。行事ではない、普段の子ども達の園生活の様子を見ていただき、教育保育の理解をしていただくと共に、年齢を問わず沢山の子ども達とふれ合っただけ、お子様の成長発達を感じていただければと思います。また、7年度は6月に保護者参加ウィーク、9月に祖父母参加ウィークも予定しておりますので是非ご参加下さい。

⑫・行事のみではなく、園外散歩などを通して、地域住民とすれ違った際に挨拶をするなど、普段の生活から接することによって、地域住民も子ども達に目を向け、関心を持ってくれるのではないかと思います。それが、子供達の事件事故の抑止につながるのではないかと思います。

○全クラス、散歩に出かけた際は、行き交う人々と挨拶を交わしたり、特に地元の方は話しかけてくださったり等での交流はあります。親老会の方と一緒にすずたグラウンドの花植えを行ったり等の活動にも参加させていただいたりしながら地域との繋がりを持つようにしております。

⑬・Instagramや掲示物よりも、お迎えの時に、その日の出来事をいい事でも悪い事でもいいので、聞く方がいい。担任の先生以外からも、話を聞ける事でちゃんと見ていただけてるのだと安心できる。

⑭・お帳面のように毎日の様子がきちんとわかるとよりいい

・以前の方が園での様子を教えてくれて会話があったように思う。何かトラブルがあった時などは会話があるが、日頃の状況などは情報交換が薄くなったように感じる。

・朝、夕とお迎えが混雑していると、会話できなかつたり話しかけづらい

○職員の出勤時間も毎日違ったり、8時以前は早番の職員のみ、17時以降は遅番の職員で対応となる為、なかなか担任と顔を合わせることがない、話ができないという方もいらっしゃるかと思います。申し訳ありません。できるだけ、担任が対応できるようにしたり、また担任でなくても、各フロア・クラスと情報交換を行いながら、少しでもお子さまの様子をお伝えできるよう努めてまいりたいと思います。

⑰・安全面ばかりに注意し過ぎず、遊びや運動の中でどこまで安全で、どこからが危険な遊びなのかを子ども達に教えて欲しい。危ない遊び方があれば、その場で注意して園児全員に共有するなど、子ども一人一人が安全なルールを守って遊べるように、意識づけをして欲しい。

○子どもの安全を守るのは私たちの務めであります。生活や、遊びのルールはしっかりと伝え、初めから“危ないからダメ”ではなく実際に遊びの様子を見守りながら、その時々で注意を行ったり、また、お集まり等で一日の振り返りを行いながら他の子ども達にも話を行い注意を促しております。

いろいろなことを実際に体験していく中で、危険回避の方法を身に着けることも大事でもあるのではないかと考えております。

《感想やお気づきのこと、ご意見等をお聞かせ下さい》

- ・いつも感謝しかありません。ありがとうございます！！
- ・いつも暖かく関わっていただきありがとうございます。園生活を通して様々な経験をさせていただき感謝します。今後ともどうぞよろしく願います。
- ・いつもインスタの更新楽しみにしています！年長のたくさんの行事を保護者が参加していないもや普段の様子など子ども達の楽しそうな様子が見れてとても嬉しいです！
- ・いつもお世話になっています。子どもの気持ちに寄り添った関わりを持ってくださり、ありがたいです。
- ・毎日楽しく園で過ごしているようで、親としても嬉しいです。

・保育園のイベントは、毎回とても楽しみにしている。発表会は、お楽しみ参加日となっているが、以前のように発表会として再開してほしい。今しか見られない発表会の様子があると思うのでぜひ再会してほしい。縦割りよりも、以前のようなクラス別で見れるとなお一体感がありよかった。

○お楽しみ参観日に関しましては、子どもにとってどうなのか？ということを考え、いろいろと協議を行った結果、現在のような形となっております。以前のように職員が教え込んだものを発表するのではなく、子ども達がやりたいこと、お父さんお母さんに見てもらいたいと思うものを自分達で話し合い考えながら、生活発表会として取り組んでいます。それこそ、今しか見られないありのままの子ども達の成長発達を、異年齢とクラスでの取り組みとしての発表の場としておりますので、ご理解ご了承いただければと思います。

・いつも、保育ありがとうございます。登園の際、受け入れの先生が一人でも良いので靴箱の横に常駐して頂けると、助かります。先生が1人もおらず、子どもと保護者と待たされる事が度々あります。また、子ども達の活動で縄跳び、跳び箱、鉄棒をさせて欲しいです。姉達は、転居してくる前で他園でお世話になっていましたが、縄跳び、鉄棒、跳び箱、棒登り、戸板登り、リズム体操などたくさんの活動を遊びながら楽しく学んでいました。その為、小学校に行った際も何の問題もなく体育の授業が出来ています。現在の鈴木小学校では、縄跳び、跳び箱が出来ない生徒と、出来る生徒さんの差があると聞きました。園での活動は、小学生に移行するまでの大切な時間だと思っています。怪我や事故を遠ざけるのではなく、小学校生活にスムーズに移行できるような活動を積極的に取り入れて欲しいです。

○こども園での生活は、おっしゃる通り小学校に移行するまでの大切な期間です。しかしながら、就学前に何かができるようになる為に活動を行うではありませんし、先取りをして、何かを教え込むということも逆に良くないと考えております。子ども達は一人ひとり個性があり、性格も様々です。体を動かすことが好きな子、何かを作ることが好きな子等、興味関心もそれぞれです。何事もそうだと思いますが、興味を示さないことを、無理にさせようとしても、全く身につかないし、かえって嫌な思いをすることになるのではないのでしょうか。勿論、いろいろなことに興味を持つように保育者が環境を整えたり仕掛けたりします。子ども達が鉄棒に興味があれば、次はこれができるようになりたい！と、どんどんチャレンジしていきます。友達がチャレンジしている姿に刺激を受けやってみようという気持ちが芽生える子もいます。そのような姿が見られた時に、チャンス！と、保育者も励ましたり、出来たら褒めたり認めたりしながら自己肯定感を高め、自信へと繋げ、他のことにも興味を持てるようにしています。ですので、ご家庭でも、そのような姿が見られた時は、親子で是非一緒に取り組んでみてはいかがでしょうか。

・以前保護者ウィークにて、園に行った時に園庭で子供達がそれぞれ遊ぶ様子を見るのみ、給食を食べる様子を遠くから眺めるのみであまり参加してよかったなあと思わなかった。先生方も、子供達の世話に追われて保護者に対して説明などいつ帰って良いのかもわからず、構う余裕もなさそうだった。せっかく、仕事を休んで参加するので縄跳びや、跳び箱が出来るようになったとか、側転が出来るようになったとか、すこしでもいいので子供が成長した姿が見れると嬉しいし、お金を払っても良いので一緒に給食を食べれるなど、保護者も参加できる様な事をしても良いのではないのでしょうか。今しか出来ない事をたくさん経験させて、子供にとって有意義な時間にして欲しいと思います。

○保護者参加ウィークは、子ども達が普段、園でどのように過ごしているのか（遊び、友達との関わり等）を見ていただいたり、保護者の皆さんにも実際に一緒に過ごしていただくことを目的としております。ですので、何かを発表する場としての行事とは考えておりませんのでご了承ください。子ども達もお父さん、お母さんと園で一緒に過ごすことを楽しみにしております！

給食に関しては、新型コロナウイルスの関係でしばらく保護者の方に食べていただくことは控えさせてもらっていましたが、7年度後半より再開しております。3歳未満児クラスは「給食参観」を行った所、沢山の方に参加していただきました。ありがとうございました。今後も、いろんな形で園見学を進めていきたいと思っておりますので是非ご利用、ご参加ください。

- ・園で有料の習い事(ピアノ、プールなど)をしてほしい
- ・サッカーだけでなく英語を学ぶ機会が増えると嬉しい

○外部講師による指導に関しましては、現在、サッカー（４・５歳児）、硬筆（５歳児）を行っております。

サッカーは、体力作りを目的に、硬筆は、小学校就学前に少し文字に触れ、興味を持つということで取り組んでおります。習い事に関しては、基本、家庭での役割だと考えており、当園ではこれ以上増やす予定はありませんが、園では色んな体験ができるよう各部屋にゾーンを設置し、子ども達が何に興味があるか、何が好きなのかを見極めながら、子ども達の成長発達に繋げていきたいと思っております。

- ・インスタで職員の忘年会の様子を載せられたのには、疑問を感じた。アップされた職員は、了承していたのか、楽しい様子は伝わったが、職員内でおさめると良かったと感じた。外部からも見られること、園の評判にもつなぐことを強く意識を持たれると良いと思う。

○園の評判のことまで気にかけて下さりありがとうございます。以後、気を付けていきたいと思っております。

- ・鈴田地区外からの登園の方なのか、新規家庭なのかわかりませんが、今年度はこども園周辺の交通状況を理解できてない運転が多いと思いました。周知してもらえようお願いします。
- ・送迎時、チャイルドシートを使用していない保護者が見受けられ、大変危険なのでやめてほしい

○7年度は、送迎時の事故が何軒か発生しております。園周辺は通学路にもなっております。子ども達の命を守る為にも、速度や交通ルールを守り安全運転を心がけていただきたいと思います。

また、園の方へ侵入する際は

- ・最徐行で侵入し、周囲をしっかりと確認しながら駐車及び発車、ドアの開閉を行う
- ・車から玄関、玄関から車までは、必ずお子様と手をつなぎ、目を離さない

ということに十分注意していただくようお願いします。

今回の保護者アンケートにあたり、皆様には率直なご意見等を寄せて頂き有り難うございました。

今後の日々の教育・保育、行事等の参考にしていきたいと思っております。

また、随時ご意見やお気づきがありましたら、職員や事務所（園長・主幹保育教諭）が対応していきたいと思っておりますので、ご遠慮なくお話しご相談下さい。